

条文の部品化による契約書再利用プラットフォームの開発 —契約書作成支援 Web サービス—

1. 背景

契約書を作ろうとすると、多くの場合、まず何かしらのテンプレートを探すだろう。社内の雛形や Web 上で配布されているテンプレート、書籍など、様々なテンプレートを手に入れることができる。

しかし、テンプレートを手にしたものの、どう変更すればよいかわからない、という人も多い。読む側にとっても同様に、重要な記述を見逃さないようにチェックするのは、骨の折れる作業となる。

2. 目的

本プロジェクトは、背景に挙げた問題を解決すべく、契約実務を支援する Web サービスの開発を目的とした。

契約書は、数あるビジネス文書の中でも、際立って文書然としたものであるが、実際に作成する際は、テンプレートの一部を編集するのみであることも多い。

つまり、よく編集される部分をフォームにすれば、簡単にテンプレートの編集ができるはずである。またフォームに入力されたパラメータの一覧は、編集された部分の一覧であることから、よく確認すべき重要事項であるともいえる。

以上のアイデアから、契約書のフォーム化を容易に行え、それを再利用できる仕組みを Web サービスとして実現しようと考えた。

3. 開発の内容

必要事項を入力することで、ワード形式の契約書案をダウンロードすることができる、契約書作成フォームを開発した（図 1）。

図 1. 契約書作成フォーム・スクリーンショット

契約書作成フォームは、画面遷移の発生しないフル Ajax アプリケーションとして実装され、リッチな UI を提供する。例えば、フォームへの設定値がどのような条文を生成するのかリアルタイムにプレビュー出来る機能や、専門用語を解説するツールチップ、特定の設定値によりインタラクティブに変化するコントローラなど、ユーザをサポートする実装が行われている。

フォームに入力された値は、契約書のテンプレートに差し込まれ、Micorsoft Word 形式のファイルを生成する。ユーザはそのファイルをダウンロードして利用することができる。そして、ダウンロードされる契約書案には、フォームに設定された重要事項を一覧することができる契約説明書が付属し、重要な項目の明快・迅速な一覧を可能にする(図 2)。

fude-bako.com 03.契約書 / 顧客紹介料に関する契約書 作成フォーム

設定項目一覧 (2012/08/20 06:09 出力)

この契約書は、fude-bako.com 03.契約書により作成されたものです。03.契約書は、既定の条項フォーム上に値を設定することで文庫を生成しているため、契約書案の検討を行う際は、設定されている値についてよく確認したうえで、変更を検討することが望ましいでしょう。下記の表にて、重要な設定項目を一覧することができるので、概要の確認に役立ててください。

パラメーター名	設定値
(契約日) 契約日	2012 年 8 月 20 日
(前文) 依頼者	依頼者太郎
(前文) 紹介者	紹介者花子
(報酬) 報酬条件	紹介あたり報酬
(報酬) 1 顧客あたりの報酬	5000 円(税込)
(報酬) 支払方法	乙は当月末締で翌月 5 日までに請求書発行し、甲は請求書を受領した月の末日までに、この指定した口座に振込にて支払うものとする。その際、振込手数料は甲の負担とする。
(報酬) 報酬の変更	両者協議の上変更
(契約期間) 契約期間	3 ヶ月
(契約期間) 自動延長有り	×
(秘密保持義務) 義務を負う当事者	依頼者
(契約解除及び期間の利益喪失) 解除可能な当事者	依頼者のみ可能
(契約解除及び期間の利益喪失) 催告の有無	催告無し
(合意管轄) 管轄裁判所	東京地方裁判所

※上記表は、簡易的な確認に利用してください。最終的な確認は、契約書の本文の文面をきちんと精査するようにください。

図 2. 契約説明書

また契約書作成フォームは、単純な Web フォームではなく、JSON 形式のメタ記述を実体化したものであり、そのメタ記述はビルダーという専用の開発環境上にて編集することができる(図 3)。すなわち、様々な契約類型の契約書作成フォームを、このビルダーにより簡単に作成・カスタマイズすることができるのである。

ただし開発環境といっても、技術的な知識は一切必要としない。出力される契約書の文章と、コントロールの設定をするのみで、特定の記述の未知化(コントロール化)や、コントロールの挙動を条件分岐させることができる。

このビルダーを応用し、条文雛形再利用機能も実装した。条文の中には一般条項と呼ばれる、様々な契約書で普遍的に規定される条文がある。そのような条文向けに、条文雛形編集機能を実装したことで、条文の再利用を柔軟に行うことができ、フォーム作成の効率化を図ることができた。

図 3. ビルダー・スクリーンショット

さらに実験的な実装として、多言語相互変換機能を実装した(図 4)。この機能は、契約書作成フォームを複数言語間で相互的に利用することができる機能である。

これは単純なローカライズ(国際化)を目的としたものではなく、多言語間における契約条件の同一表現を目指すものである。例えば日本語、英語のそれぞれを母国語とする二者間において、それぞれが自らの母国語でフォームを利用しつつ、その内容(契約条件)は同一のものとなるように工夫がされている。

この実験的な実装により、実用化の可能性や課題が明らかになった。それらを活かし、将来的な提供を目指す。

図 4. 多言語相互変換機能・スクリーンショット

4. 従来の技術(または機能)との相違

契約書をフォームから出力する、というアイデアはありふれたものであり、そのような製

品・サービスは、すでに多く存在する。

しかしそのフォームの多くは、ハードコーディングされたものである。ユーザがコントロールを増やしたり、出力される文章のひな形を編集したりするなどの、カスタマイズを行う余地がないものである。

一方で、本プロジェクトのビルダーは、フォームのカスタマイズを可能にする。技術的な知識がなくても、既存の契約書テンプレートを、インタラクティブな Web フォームに昇華することができるのである。この仕組みによって、フォームが様々な用途にカスタマイズされ、またオープンなプラットフォーム上で、ブラッシュアップされたものが共有されていくことを見込む。

5. 期待される効果

すでに検索エンジンで「〇〇〇契約書」と検索するユーザが、本 Web サービスの「〇〇〇契約書作成フォーム」にたどりつき、契約書案を作成できるようになっている。公開されるフォームが増えれば、より多くの契約書を作成したいユーザを支援することができると見込む。

6. 普及(または活用)の見通し

継続して開発を行いつつ、公開するフォームの数を増やし、検索エンジン経由の利用者の増加を目指す。またフォームの質と数を上げるために、法律事務所向けのサービス(見込顧客とのマッチングサービス)を提供し、法律事務所に本 Web サービス上でフォームを公開してもらえるようなスキームを目指す。

7. クリエータ名(所属)

田村 佳也(フリー)

(参考)関連 URL

- 本プロジェクトの成果物を公開する Web サイト
fude-bako.com 03.契約書(<http://www.fude-bako.com/keiyakusyo>)